

令和元年度第4回奈良市プロポーザル採否審査会会議録			
開催日時	令和元年7月10日(水)午後1時45分から午後2時15分まで		
開催場所	奈良市役所 中央棟 5階 庁議室		
出席者	委員長	西谷副市長	
	委員	向井副市長 萬谷法令遵守監察監 吉村総務部長 深村市民部長 梅森観光経済部長 荻田都市整備部長 木村建設部長 中西教育部長	
	事務局	契約課長、契約課長補佐、契約課契約係長	
開催形態	公開(傍聴人 0人)	担当課	産業政策課
議題 又は 案件	1 奈良市創業支援施設機能強化整備及び同施設を拠点とした創業支援事業業務委託		
決定又は 取り纏め 事項	1 採用		
<b>議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等</b>			
<p>担当課 本事業は創業支援施設である、きらっ都・奈良において新たな事業者を育てるベンチャーエコシステムの確立と施設を起業家支援にふさわしい環境に改修し、管理する事業者を募集するものです。ベンチャーエコシステムとは起業マインドを持った人材、起業家を支援する人材、これらの取組みに関心のある者が集まり、新たなイノベーションが生まれる環境を構築し、本市で育った起業家が新たな起業家を育てていってもらえるような好循環の構築をするものです。これを構築するのが本事業の目的です。プロポーザル方式の採用の理由は、本件はきらっ都・奈良における創業支援事業の機能強化と、きらっ都奈良の運営、奈良市で起業した人が次の起業家を育てるという循環型の起業家育成を一体で募集するものですが、きらっ都奈良でのソフト・ハードの事業が統一し、奈良独自のビジネスチャンスを生み出すにあたり、民間事業者等の蓄積しているノウハウや専門知識をふんだんに活用して、創造力・技術力と実績支援体制が必要になります。そのため単なる価格競争の単純な請負には馴染まないため、今回プロポーザル方式によって実施したいと考えたものでございます。以上でございます。</p> <p>委員長 ベンチャー企業を育てるのに、どのようなネットワークを使って奈良に関東圏等から呼び込むのですか。</p> <p>担当課 ネットワークはコンソーシアムの中で育てることを考えています。コンソーシアムとは企業、寺院や役所等の中で起業家を育てていこうというものです。これが根付いてくれば、奈良はベンチャーエコシステムに力を入れている街だと分かれば、起業したい人が関東圏からも自然に集まると思います。</p>			

委員長 今回募集する委託業者は何をするのですか。

担当課 コンソーシアムメンバーのコンシェルジュのような役割を担っていただこうと思っています。例えば相談が来た時にコンソーシアムに入ってもらい、**その中で**仲介役をやっていただくのと、この館の管理をお願いしたいと思っています。

委員 今興味持ってくれているのはどのような業態の会社ですか。

担当課 この事業自体が利益を得るものではないので、どちらかというとならば一般社団法人とかをイメージしています。この事業を通してその事業者自身も奈良市に貢献・寄与したい思いで来ていただくようなイメージです。

委員 大きなお金を市が出して、起業家を育てる人を雇って、新しい起業家を育ててもうらことも可能だと思いますが。

委員長 ここに施設の管理も含めるのは業種が違うから難しいのでは。

担当課 そうですね。管理も一緒に受けてくれるとなればさらに門が狭くなる。

委員 だからと言って、職員がそこについて管理するというのは、大変なのでそこも含めて考えています。

担当課 もうちょっとこれを改修する時に、セキュリティー面を強化して、いわゆる人が年中張り付いているのではなくて、もう少し最近のシステム等を使って、業者はカードでとか、自動で出入り出来たりする形に持っていけたらいいと思います。

委員長 整備の委託ならこの業者でなくてもいいのではないですか。

担当課 今回想定している一階二階のハード整備は、ベンチャー企業家が話し合いできる場所の想定も含めていきますので、コンソーシアムメンバーのコンシェルジュ的な方にトータルとして一緒にしてもらおうのが重要と考えています。

委員 福岡が小学校跡地を使って、そういったのを立てています。若い起業家が来たいなという雰囲気のカフェ的なイメージのデザインをしています。そこに例えば弁護士が月に1回、2回来ていたり、会計士が来ていたりするのもあるし、その情報を得たいからみんながそこに集まってくる、相談してみるっていうのも、そういう場面を作ったり、起業家がスタートする場所を作ったりとか、そういうのもやっているんで、そこがデザインを提案してもらおう。単に箱があっただけではなかなか来てくれない。

委員長 2,800万が委託料の中で適切に使われているかはどうチェックするのか。

担当課 この部分については委託ですが、国費である内閣府の地方創生推進交付金が絡んでいますので、仕様にも詳細な報告は頂くことを書かせてもらっています。通常の委託よりは、そのあたりのきっちりとした仕様になっています。設計から全て出していただく。

委員 予算2,800万で1・2階改修するのか知らないですが、提案を受けて工事発注をかけるのが本来だと思うのですが。

担当課 特に今、この、きらっ都・奈良の一階が残念ながら閑散としている状況です。ですから、利用者同士のコミュニケーションやイノベーションの創出が活性化される室内空間、デザインも提案してもらいます。

委員 閑散としているのですか。相当な予算かけて整備したが、2,800万程度でどの程度改修できるかわからないが、大きいから執行の手続きは委託契約の中ではできな

いのではないか。

事務局 トイレ改修だけでも500万かかる。2800万は安い。ここには設計料も含まれていますから、それが200万～300万だとしても、ここから引いたらどれだけできるか。

担当課 予算化させていただくにあたっては、こちらとしても設計業者に我々が思いつく範囲での改修の積算はして頂いていて、そこから見積というのがあるって、国に見積書を提出して認めてもらった部分が一応あるので、その部分は奈良市がするならこれくらいというので、見積もりは出ています。ただ、大事なのは、ソフト部分で、今閑散としてしまっている一階に、新たに起業家や関心のある人たちの交流を促すスペースに持っていかないといけない。そのためにはソフト事業をするには、一定のハード面でも交流を促す雰囲気を作っていくのを一体で考えないといけない。ハードはハード、ソフトはソフトでは、ソフトをやろうとしているこの中ではそれを生み出そうとしている部分は、それはちょっと別々には考えられない。あと施設整備は2800万でかつかつであり、思いによってはすべてできない中で、ソフトの部分でそこを賄うのも考えられるかなと思っている。

委員 ハード施設の費用の正当性をどこでみるかが大事になるのだが、そのチェック機能はどうするのか。「見積あがりました」、それで良いのかというところです。

委員 担当課が言っているように、どんな空間にしたいかというのは、当然ソフト的なアイデアが必要なもので、それはわかります。それに伴う改修費用の正当性をどうチェックするのが宙ぶらりん。

委員長 補助金ついているから、国から見られたときに積算どうなっているか出さないといけない。業者はこんな良いもの作ろうと提案を出してくる。実際できないとなると積算が大変だから。行政側でしっかり見ておかないとあとあと困る。

委員 仕様書の中に何か入れて欲しい。この仕様書では何でもありになる。工事費用を提出したら終わりではなく、設計の段階からチェックを入れて、それによって公共積算を出してもらわないといけない。金額的に2,800万で厳しいのは分かりますが、積算は出してもらわないといけません。

委員長 それができる業者なのか、そういう業者がいるかどうかを確認する。

委員 プロポーザルのときに出してもらえば良いと思います。

委員 委託料は、初年度、二年度は運営経費含めているなら。

担当課 運営については2年目以降は自走へ向けて事業者が資金を引っ張って来てもらうのをお願いしようとしている。ただ初年度いきなり半年間で資金を引っ張ってくるのは難しいということで、1年目は手厚くしています。逆にいうと3年目は相当厳しい。

委員 これだけ落として大丈夫なのか。

担当課 いや、それはもう自走までの用意として。1年目が一番難しいと思います。

委員 今、1階は何店舗入っているのですか。

担当課 10店舗中、今入っているのは3店舗です。去年募集しましたが、全然入りませんでした。

委員 入札でやるのは出来ないことなのですね。

委員長 入札は難しいでしょう。

委員 やっぱり、提案出してもらわないと仕様書も作れない。

委員長 大分意見が出たと思うのですよ。なので、これはプロポーザルでよろしいですよ。

事務局 本日の案件につきましてプロポーザルは採用ということで決定を頂きました。ありがとうございました。

**【資料】** 奈良市創業支援施設機能強化整備及び同施設を拠点とした創業支援事業業務委託プロポーザル募集要項（案）